

スピーカーアキュライザーの活用(6) —STAGE+—

1. 始めに

前報(1)のスピーカーアキュライザーSPA-7の配置替えの結果を試聴していきます。

2. スピーカーアキュライザーSPA-7の試聴方法

STAGE+の試聴ということでスピーカーアキュライザーSPA-7の導入(8)の同じ音源の中から選択して試聴します。

今回は、ドイツグラモフォンの配信サイト STAGE+から映像付き収録アーカイブの配信を試聴します。試聴のポイントは、ライブ収録のリアル感の再現です。

対象の STAGE+の配信音源は次のとおりで、PC から Sonica DAC 経由で再生します。

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ The Art of Life (作品集)

Daniil Trifonov (ピアノ)

バッハ クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

モンテヴェルディ合唱団

シューベルト ピアノ五重奏曲「鱒」

リサ・パティアシュベリ (ヴァイオリン) 他

3. スピーカーアキュライザーSPA-7の試聴結果

ベートーヴェンのピアノソナタ 30 番 31 番 32 番は、ポリーニの弾く Fabbrini の輝かしい音が収録場所のヘラクレスザールに響きわたります。Steinway からチューニングされた Fabbrini と Steinway の音の違いがよく分かります。

バッハの曲を集めた The Art of Life は、無伴奏パルティータのシャコンヌのピアノ編曲版などを聴きましたが、共鳴弦の響きも含めて、一音一音の構成が手に取るように分かります。

バッハのクリスマスオラトリオは、ティンパニの連打と輝かしい金管から始まり、力強い合唱が、St. Martin in the Fields に響きわたります。古楽器の弦楽器と木管の質感も十分で、テノール、カウンターテノール、ソプラノ、バスの歌唱は残響までリアルに表現されています。

シューベルトのピアノ五重奏曲「鱒」は弦が滑らかになっており、コントラバスの量感が増すと同時にピアノの響きが豊かになって前に出てきます。

4. まとめ

スピーカーアキュライザーの配置替えの効果により、上記音源の音の精度が上がってきており、配信とは思えないほどのリアリティを感じます。

以上